

定期的な必修セミナーでの学生間交流を通して 体験学修の充実・拡充を図る

教育学部附属教育支援センター長：原 丈貴

教育学部では、基礎体験活動の学びをより深めていくことを目的として、学年ごとに以下のセミナーを必修セミナーとして実施しています。

(基礎体験交流会は1.2年生合同のセミナー)

1年次：スタートアップセミナー、基礎体験交流会

2年次：充実期セミナー、基礎体験交流会

3年次：応用期セミナー（キャリア教育も含む）

4年次：発展期セミナー

それぞれのセミナーは以下の2点を目的としています。

- ・基礎体験領域でねらう資質・能力の視点から、これまでの取り組みを分析し、他者と比較しながら各自の成果と課題を明らかにする。
- ・グループ協議により、基礎体験への意欲の違いや考え方について明らかにするとともに、基礎体験がより充実・拡大していくような意欲づけを行う。

定期的にセミナーを行うことで、基礎体験活動に向かう意欲の維持、学生の困り感の把握、受入事業所からの情報伝達、グループ協議を通じた体験活動の充実化が期待できます。

1～3年生のセミナーには上級生をアドバイザーとして各グループに配置し、グループ協議がより深まるようアドバイスを行ったり、ファシリテーションをしたりする役割を担ってくれています。

